

## 旧中島地区被爆遺構展示館

〔地図番号62〕

## 建設年月日

2022年（令和4年）3月26日

## 建設者

広島市市民局国際平和推進部  
平和推進課

## 特徴

ループ映像、実物、説明パネルを  
 配備し、被爆遺構の保存に適した環  
 境を整備（温湿度等や変色の有無確  
 認等の定期観察を実施）すると共に、  
 来館者が間近で被爆遺構を見学する  
 ことができる、世界で初めての露出  
 展示スペースを配置。



## 建設の目的

平和記念公園の区域は、被爆当時多くの人が生活していた旧中島地区の町の上に被爆後盛土をして整備されたものである。2019年（令和元年）に行った確認調査の結果、地面から60～90cm程度掘り下げたところにこの場所に元々人々の暮らす町があり、人々の日常の営みがあったことを想起させる被爆遺構が検出されたことから、平和記念公園を訪れる方々に被爆の実相を伝えるため、建屋を整備し、被爆遺構の保存状況等をモニタリングしつつ遺構の露出展示が可能な施設を建設した。

## 館内展示について

- ① 被爆前の町並みと暮らし  
被爆前の町並みや人々の暮らしなどを写真で紹介。
- ② 原子爆弾による被害  
原子爆弾による被害の実相を紹介。
- ③ 被爆遺構  
旧天神町筋の側溝やアスファルト、隣家との境界を示す石材列などの町並みの痕跡を現物展示するとともに、炭化した畳、板材等の部分をレプリカ展示している。また、西側の壁面には、解説映像を映している。
- ④ 被爆の証言  
原子爆弾の威力に関する解説とともに、かつて「この地」に暮らしていた人々の被爆時の証言を紹介。
- ⑤ 「この地」が語る歴史  
旧中島地区の町並みがつくられた時期（人が住み始めた江戸期）から、被爆前の町並み、被爆時の証言、被爆後の復興などを経て、現在の平和記念公園になるまでの変遷などを紹介。

広島市のホームページでは、被爆遺構展示館の展示パネルでは紹介しきれない情報が掲載されている。